

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム さくら

## 目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 09 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	チームでつくる介護計画とモニタリング	利用者の重度化に伴い、介護に要する時間が倍増し、利用者一人ひとりのペースで暮らしていくのが困難になってきているので、今後の介護のあり方を検討していく。	職員は、利用者一人ひとりの介護のあり方をもう一度全員で見直し、過剰な介護をしていないか、身体機能維持に逆行するケアに取り組んでいないかを検討し、利用者が、「出来ること、出来そうなこと、出来ないこと」を把握し、ケアの実践に取り組んでいく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化が進み、車椅子の方が多くなり、全員で外出することが少なくなったが、利用者の希望を聴きながら、外出の支援に、個別対応で取り組んでいく。	職員の意欲と頑張りで、車椅子の利用者も、天気の良い日は庭や周辺の散歩に出掛け、自然の風に触れて、四季の変化を感じ取ってもらい、目や耳が不自由でも、戸外に出掛ける支援をして気分転換を図っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。